

山口県高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会議

日時：平成23年2月11日(金)17時30分～

場所：共用第1会議室

1 知事あいさつ

2 知事報告事項

(1) 常盤公園内の白鳥等の処分に係る対応状況

ア 防疫活動の状況

イ 職員の派遣、資機材の支援

ウ 防疫活動従事者への健康調査

(2) 県の今後の対応

ア 常盤公園への対応

イ 家きん飼養農場への対応

ウ 飼養鳥・野鳥への対応

(3) 国内の高病原性鳥インフルエンザの発生状況

(4) 職員への指示事項（総務部長）

(5) 機動隊の取組状況（県警本部警備部長）

3 知事指示事項

知事報告事項

1 常盤公園内の白鳥等の処分に係る対応状況

(1) 防疫活動の状況

2月9日(水)

時間	内容
10:00	常盤公園の職員が死亡したコクチョウを発見
12:15	簡易検査で陽性を確認
19:00	遺伝子検査でH5亜型を確認
19:20	宇部市長より知事へ支援要請
20:00	山口県高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会議を開催 県現地支援室を設置
22:00	白鳥等の捕獲作業を開始
2:30	白鳥等の捕獲が困難のため作業を中止し、対応再検討

2月10日(木)

時間	内容
7:30	現地集合、3班体制
9:30	防疫作業開始
12:00	162羽処分終了(白鳥158羽、カモ4羽)
19:30	作業終了 329羽処分終了(白鳥319羽、カモ10羽)

2月11日(金)

時間	内容
8:00	現地集合
9:00	防疫作業開始
12:00	白鳥等の処分終了 338羽(白鳥322羽、カモ14羽、ペリカン2羽)
17:00	白鳥湖周辺の消毒を実施し、防疫措置完了

(2) 職員の派遣、資機材の支援

派遣人員

2月9日 123人	県警機動隊：20人 総務部：3人（防災危機管理課） 地域振興部：2人（県民局） 健康福祉部：29人（保健師21人、医師3人、他5人） 農林水産部：69人（家畜防疫員15人、他54人）
2月10日 136人	県警機動隊：20人 総務部：3人（防災危機管理課） 地域振興部：2人（県民局） 健康福祉部：22人（保健師15人、医師3人、他4人） 農林水産部：89人（家畜防疫員21人、他68人）
2月11日 121人	県警機動隊：20人 総務部：3人（防災危機管理課） 地域振興部：2人（県民局） 健康福祉部：15人（保健師8人、医師3人、他4人） 農林水産部：81人（家畜防疫員20人、他61人）

提供資機材

区分	数量	備考
照明車	3台	山口河川国道事務所(2)、県警機動隊(1)
照明車	1台	県警機動隊
投光器	1器	宇部警察署
ボート	5隻	県警機動隊
防護服	800枚	総務部、農林水産部
マスク	1,100枚	農林水産部
ゴーグル	400個	農林水産部
防護グローブ	3,300個	農林水産部
防護キャップ	400個	農林水産部
長靴	250足	農林水産部、土木建築部
消毒薬	18L×5本	農林水産部
動力噴霧機	5台	農林水産部
スコップ	50本	農林水産部

(3) 防疫活動従事者への健康調査

【健康調査従事者(延べ人数)】(2月9日～11日) (単位 人)

事前健康調査実施者 (うち従事可となった者)	健康調査 従事者	医 師	保健師	その他	合 計
宇部市職員 249 (237)	宇部健康福祉 センター	3	14		17
県職員 240 (237)	各健康福祉 センター	6	27		33
県警機動隊員 72 (72)					
産廃業者等 70 (68)	県健康増進課		3	3	6
合 計 631 (614)	合 計	9	44	3	56

【健康調査の結果】(2月9日～11日)

① 作業前

- 健康調査において、動員された631人のうち17人が体調不良のため、従事不可となった。

② 作業後

- 作業に従事した全員について、健康上の問題は生じていない。
- タミフルの予防投与は、1人実施(マスクが外れたため)。

2 県の今後の対応

(1) 常盤公園への対応

- ① 飼養鳥の監視強化を継続
- ② 飼育管理に係る消毒の徹底の指導

(2) 家きん飼養農場への対応

- ① 養鶏農家等への注意喚起と異常の有無の確認
- ② 養鶏農家等への緊急消毒の実施（2月3日から消石灰を配布）
 - ・ 常盤公園から半径10km以内の全ての家きん飼養農場には配布済み
 - ・ 配布対象農家への配布率92%（2月10日時点）
- ③ 異常発見時に、直ちに最寄りの家畜保健衛生所への通報の再徹底
- ④ 野鳥の侵入防止、消毒実施等の防疫対策を再徹底するよう指導
農場の衛生管理の一斉点検（1月22日～2月18日）
- ⑤ 報告徴求など監視体制の堅持
 - ・ モニタリング検査：定点モニタリング検査（14農場：毎月）
強化モニタリング検査（105農場：年2回）
 - ・ 報告徴求：週1回の報告を継続
- ⑥ 風評被害対策並びに相談窓口の継続

(3) 飼養鳥・野鳥への対応

- ① 動物園や鳥類を展示している施設への消毒等の指導
- ② 野鳥の監視強化（半径10km以内）
 - ・ 渡り鳥の生息密度が高く、多数飛来する地区の巡視を強化（巡視頻度を拡大）
- ③ きらら浜自然観察公園の休園
 - ・ 2月10日から休園（監視区域の解除までの間を目途）
 - ・ 休園期間中も、園内の消毒、野鳥の監視を徹底

(4) 防疫作業後の対応

- ・ 防疫作業に従事した人・車・資材の消毒等を現地で徹底
- ・ 防疫作業に従事した人からの健康相談への対応

参考

- ・ 死亡野鳥等の検査状況（2月10日現在）
平成22年11月の島根県での発生以降、49件を検査、1件詳細検査中
- ・ 高病原性鳥インフルエンザに関する相談状況
相談件数：79件（2月10日現在）
内 容：愛玩鶏及び野鳥の死亡を確認した場合の対応について
食鳥肉、卵の安全性及び鶏舎等の消毒に関すること 等

3 国内の高病原性鳥インフルエンザの発生状況について

◆高病原性鳥インフルエンザの家きん分離事例（平成22年11月以降）

No.	発生日	発生場所	発生規模(羽)	防疫措置の進捗状況
1	11月29日	島根県安来市	採卵鶏 21,549	12月27日：終息宣言
2	1月22日	宮崎県宮崎市 ①	種鶏 10,228	1月24日：防疫措置完了
3	1月24日	宮崎県新富町 ②	採卵鶏400,944	2月2日：防疫措置完了
4	1月26日	鹿児島県出水市	採卵鶏 8,462	1月26日：防疫措置完了
5	1月27日	愛知県豊橋市	採卵鶏142,191	2月3日：防疫措置完了
6	1月27日	宮崎県都農町 ③	肉用鶏 16,797	1月29日：防疫措置完了
7	1月28日	宮崎県川南町 ④	肉用鶏 89,183	1月31日：防疫措置完了
8	1月28日	宮崎県延岡市 ⑤	肉用鶏 6,956	1月30日：防疫措置完了
9	1月31日	宮崎県高鍋町 ⑥	肉用鶏 40,796	2月1日：防疫措置完了
10	2月1日	宮崎県宮崎市 ⑦	肉用鶏190,000	2月4日：防疫措置完了
11	2月2日	大分県大分市	採卵鶏 8,100	2月3日：防疫措置完了
12	2月4日	宮崎県高千穂町⑧	肉用鶏 58,000	2月6日：防疫措置完了
13	2月5日	宮崎県都農町 ⑨	肉用鶏 96,000	2月7日：防疫措置完了
14	2月6日	宮崎県門川町 ⑩	肉用鶏 30,000	2月7日：防疫措置完了
15	2月6日	宮崎県宮崎市 ⑪	肉用鶏 33,000	2月8日：防疫措置完了

◆飼養鳥(※)、野鳥からの分離事例（平成22年12月以降）

No.	場所	品 種	確定日時	ウイルス型
1	鳥取県 米子市	コハクチョウ	H22.12.18	H5N1
2	富山県 高岡市	コブハクチョウ※	H22.12.19	H5N1
3	鹿児島県 出水市	ナベヅル	H22.12.22	H5N1
4	福島県 郡山市	キンクロハジロ	H23.1.19	H5N1
5	北海道 浜中町	オオハクチョウ、カモ	H23.1.22	H5N1
6	島根県 松江市	キンクロハジロ	H23.1.25	H5N1
7	兵庫県 伊丹市	カイツブリ、オシドリ	H23.1.28	H5N1
8	高知県 高岡郡	オシドリ	H23.2.1	H5N1
9	鳥取県 米子市	カモ、キンクロハジロ	H23.2.1	H5N1
10	北海道 浜中町	オオハクチョウ	H23.2.1	H5N1
11	宮崎県 延岡市	オシドリ	H23.2.5	H5
12	長崎県 長崎市	オシドリ	H23.2.6	H5N1
13	大分県 別府市	オシドリ	H23.2.8	H5
14	北海道 浜中町	オオハクチョウ	H23.2.8	H5N1
15	徳島県 那賀町	フクロウ	H23.2.9	H5
16	大分県 中津市	オシドリ、ハシブトガラス	H23.2.9	H5
17	大分県 大分市	オシドリ	H23.2.9	H5
18	宮崎県 諸塚村	カイツブリ	H23.2.9	H5
19	山口県 宇部市	コクチョウ※	H23.2.9	H5
	宮崎県 西都市	ハヤブサ		検査中
	山口県 宇部市	キンクロハジロ		検査中